

小計	8	1					1	
----	---	---	--	--	--	--	---	--

VI. 社会資源の開発に関する項目

項目	NO	評価基準の具体的内容	評価結果			改善の必要性					改善優先順位	
					x	a	b	c	d	e		
社会資源の発掘に対する取り組み	59	利用者のニーズに対応するために必要な新しい社会資源を発掘するための取り組みをしていますか。										
新たな社会資源の開発に向けた認識と対応	60	介護支援専門員として社会資源の開発についての役割を認識し、既存のサービス(インフォーマルサービスを含む)で対応できないニーズが発生した場合、それを放置することなく社会資源の開発に向けての取り組みをしていますか。										1
小計			1		1			1				

. 給付管理業務

項目	NO	評価基準の具体的内容	評価結果			改善の必要性					改善優先順位	
					x	a	b	c	d	e		
給付管理表の適正な作成	61	給付管理業務は、各居宅サービス事業者や国民健康保険団体連合会、保険者と連携しながら適正に行っていますか。										
効率的な給付管理業務の実施	62	給付管理業務を適切かつ効率的に行うためにコンピューターを導入していますか。										
小計			2									

. 要支援及び要介護認定に係る訪問調査

項目	NO	評価基準の具体的内容	評価結果			改善の必要性					改善優先順位	
					x	a	b	c	d	e		
介護認定の流れの理解と適切な説明	63	介護認定の流れについて理解し、利用者に適切に説明していますか。										
利用者の自宅への訪問	64	訪問調査は本人及びその家族の都合を考慮して訪問日を決定し、原則として、利用者の自宅で行っていますか。										
家族や主治医、各居宅サービス提供機関との連携	65	利用者の状態は、本人や家族だけでなく、必要に応じて主治医や各居宅サービス提供機関等関係機関にも確認するなどして行っていますか。										
認定有効期間の管理と申請代行手続きの実施	66	利用者の認定有効期間が途切れることがないように期間の管理を行うとともに必要に応じて申請代行の手続きを行っていますか。										
不正行為の予防	67	介護支援専門員が要介護認定調査をするときは、事業所として不正行為をしないよう対策を講じていますか。										
小計			5									

IX. 事業の管理・運営

項目	NO	評価基準の具体的内容	評価結果			改善の必要性					改善優先順位	
					x	a	b	c	d	e		
理念・方針の明確化	68	居宅介護支援事業所としての理念や方針を明確にするとともに介護支援専門員等に徹底していますか。										
事業計画の策定と見直し	69	居宅介護支援事業所としての理念・方針に基づいた事業の達成目標(計画(中・長期))を定めていますか。										
運営規程に基づいた運営	70	運営規程に基づいて適切に運営することができていますか。また、運営規程の概要等を掲示していますか。										
保険者への情報提供	71	利用者及びその家族、また、事業者として介護保険制度に関する意見がある場合は、そのまま放置することなく、必要に応じて保険者に報告をしていますか。										
各種制度に関する情報収集と適切な理解	72	事業所として介護保険制度及びそれ以外の保健・医療・福祉に関する各種制度の情報を収集するとともに事業所の介護支援専門員に周知徹底を図っていますか。										
個人情報の開示	73	利用者及びその家族からの求めに応じてサービス経過記録等の情報の開示を行っていますか。										
サービス評価に関する情報の開示	74	地域住民や利用者及びその家族に対し、サービスの自己評価や第三者評価の結果を公開していますか。										
苦情解決に関する情報の公開	75	自らの事業所に対する苦情への取り組み及びその結果を公開していますか。										
財務諸表の公開	76	利用者及びその家族から財務諸表に関する情報開示の請求があった場合は、開示できるよう整備をしていますか。										
啓発活動	77	地域住民から、介護保険制度等に関する説明会等の依頼があった場合は、積極的に対応していますか。										
地域内の関係機関・関係団体との連携	78	事業所として地域の介護支援専門員連絡協議会等との連携を図り、また、積極的な加入の推進を行っていますか。										
小計			11									

合計	76	1	1				1	1		
----	----	---	---	--	--	--	---	---	--	--

(凡例)

「評価の結果」 : 実施できている : 実施できているが不十分 x : 実施できていない
「改善の必要性」 a : 概に着手している b : 早急(本年度中)に改善に着手 c : 来年度以降に改善に着手
d : 改善の必要性と実現可能性の検討に着手 e : 当面、改善に着手しない

